

議会運営委員会 会議録

日 時 令和2年6月9日（火曜日）

午前11時16分開会，午前11時32分閉会

場 所 第3委員会室

日 程

- 1 開 会
- 2 委員長挨拶
- 3 議長挨拶
- 4 協議事項
 - （1）追加議案について
 - （2）その他
- 5 閉 会

出席委員（7名）

委員長	海老原 一郎
副委員長	吉田 千鶴子
委 員	吉田 博史
委 員	小坂 博
委 員	鈴木 一彦
委 員	塚原 圭二
委 員	勝田 達也

欠席委員（0名）

その他出席した者

議 長	篠塚 昌毅
副議長	平石 勝司

説明のため出席した者（4名）

副市長	東郷 和男
副市長	栗原 正夫

市長公室長 川村 正明
財政課長 山口 正通

事務局職員出席者

局 長 小松澤 文雄
次 長 天貝 健一
係 長 小野 聡
主 査 寺嶋 克己
主 任 松本 裕司

傍聴者（0名）

男 0名
女 0名
議 員 福田 一夫
議 員 今野 貴子

○海老原委員長 ただ今から議会運営委員会を開会いたします。傍聴は有りませんね。

(「はい」との声あり)

○海老原委員長 はい。まず議長の方からご挨拶願います。

○篠塚議長 議運の皆さまにおかれましては大変お忙しい中をお集まりいただきありがとうございます。コロナ禍の中で議会を運営しております。混乱させないために皆様のご意見をまたいただきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いします。

○海老原委員長 それでは、早速、協議事項に入ります。協議事項（１）追加議案についての協議をお願いいたします。執行部から説明をお願いします。

○川村市長公室長 議案等概要をご覧いただきたいと思います。最終日に追加議案として上程いたします条例１件、補正予算１件についてご説明いたします。２ページをご覧いただきたいと思います。議案第４７号土浦市特別職の職員で常勤のものの給料月額の特例に関する条例の制定につきましては、常勤特別職である市長、副市長、教育長の給料月額の特例を規定するものでございます。具体的には新型コロナウイルス感染症対策事業費の財源とするため、本来の額から１００分の１０を減額した額とするもので、適用期間は令和２年７月１日から１０月３１日までとするものでございます。本年７月１日から施行するものでございます。続きまして、３ページをお願いいたします。補正予算でございます。議案第４８号令和２年度土浦市一般会計補正予算（第５回）についてご説明をいたします。その下、一般会計歳入歳出予算をご覧ください。歳入歳出それぞれ３億８，００８万円を加え、総額を６６１億６，９７４万７，０００円とするものでございます。歳入につきましては、繰越金の増でございます。歳出につきましては、下の概要をご覧ください。２款総務費、職員給与計算事業は、市長及び副市長の給料を４カ月に渡り１０％減額するものでございます。６款商工費。２つございます。まず１目クラウドファンディング支援事業につきましては、新型コロナウイルス感染症により影響を受けている事業者を支援するため、土浦市商店街連合会が実施するクラウドファンディングに係る事務費及び返礼品の２０％プレミアム分に対する補助金の計上でございます。次のプレミアム付商品券発行事業は新型コロナウイルスの影響により低迷している地域経済への消費喚起と事業者支援を図るため土浦商工会議所が交付するプレミアム商品券、１世帯１セット分６万７，２００セットにプレミアム分５０％を上乗せし、発行総額１０億８００万円とする事業費３億６，６８８万３，０００円を計上するものでございます。９款教育費、職員給与計算事業につきましては、教育長の給料を４カ月に渡り１０％減額するものでございます。説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○海老原委員長 ただ今の説明で何かありますか。

○吉田（博）委員 補正のクラウドファンディングとプレミアム付商品券。これは執行部仕事早いな。大したもんだ。これは議会の方で慎重に審議して早めに、スピードのある政策として進めていただきたいと思います。１つ気に食わないのが４役の給料削減。これはあんまり好きじゃないな。俺は。個人的な意見というよりね。皆さんご存じの通りどこの市町村でも首長さんとか、いろいろ議会は議会でとか、いろいろやっています

けれども。私は本来は、こういうことはすべきではないと思うんだけどね。どうせやるのであれば、やる時期としては、よく新年度当初予算で、本年度は厳しいから特別職も議会も1年間は10%削減とかね。そういった方が私はスマートだと思うんだよね。これは1つのパフォーマンスに見られる感があって、市民からも評価するのが半分、批判するのが半分だと思うんだよね。やっても。やらなければやらないでまたあるんだろうけれども。私はあまりこういうことは好きじゃないな。今の時期にやるべきものじゃないかなという気がしています。1つの意見です。

○海老原委員長 その他ございますか。

○鈴木委員 同じ会派で、先輩とは逆の話になって申し訳ないんだけど、さっきも予算委員会の歳入の時にちょっと言おうとは思っても、言わないっちゃったんだけど。要は、国からのお金が入ってくるタイミングと市税が入ってくるタイミング、あとはコロナ対策で緊急にお金を出さなければならないタイミング。このタイミングの問題があるので。パフォーマンスとかなにかよりも、財政的に考えた時に緊急に出動できるお金をある程度市の方が持っておかないと、この先第2波、第3波が来た時に非常に厳しい状況に陥る可能性もある訳ですよ。場合によっては借金をするしかない。それを防ぐためには少しでも、すぐに出来る現金を、微々たるものかもしれないけれどね。それを持っておくべきだと。だから議会の方でもね本来は身を切ることをしてなければいけない。ただ報酬と政務活動費は非常に難しいけれどもせめて委員会の旅費くらいは、行かないということが決まっているんだから、そのくらいは、自らの身を切る覚悟をもって、市政に対する協力。コロナ対策にあたるべき、姿勢を見せることが、議員として大事であると私は考えております。これも意見です。

○海老原委員長 その他ございますか。

○塚原委員 ちょっとこのプレミアム商品券なんですけれども、この時点で1万円に50%を上乗せということになっていますよね。もうこれは決定ですか。まあ、商工会議所からの形ということになっているみたいですけど。というのは、こないだ委員会とか議員の懇談会とか、の中で1万円出せない人結構いるんじゃないのという話があって、5,000円プラス5,000円という案もあったんですよ。5,000円の商品券にプラス5,000円を付けたらどうだという案もあった中で。もうここで1万円て、にプラス50%で決まっているということは、もうその時の話は何もなかったということなんですかね。

○東郷副市長 このプレミアム商品券につきましてはですね、商工会議所、それから商工会、それからJAさん、それから商店連合会さんの方からも要望をいただきました。プレミアム商品券を確保してですね、このコロナウイルスの経済対策として早急にやってほしいというようなこと。それから、こちら議会の方からもいただきました。趣旨を検討させていただきまして、プレミアム率については50%という形にさせていただきました。使い勝手の話もあるので、5,000円か1万という話もございますけれども、基本的には1万で1万5,000円ということで、1セットですか、で6万7,200セットでまずはやっていきたいと。状況を見たいということで決定させていただきました。

た。

○塚原委員 その中で、まあ仮に商工会が持って来たということなんですけれど。これ6万7,000セットって。大体6万7,000世帯で1セットくらいの感覚かなと思うんですけれど。本当のこれ1万円でみんな買う。私の考えとして買えるのかなという。逆に買える人ばかり買っちゃって、買えない人は全然買えないんじゃないかな。逆に買えない人のためにもこれは少し入れて行かないと、商工振興費ですから商工会に買っただいて、土浦の商店街の人たちにやっぱり盛り上げていただくというのがあると思うんですけれど。ただ、ある程度大変な方にとっては、これで5,000円プラスはすごいいいんですけれど、その人たちは買えないんじゃないかなというのが私はちょっと。

○東郷副市長 1万円券とまあ、1,000円券を5枚とするか、500円券を10枚にするか、の関係なんですけれども。印刷代がかかってきて、その分も配慮しながら、1日でも早くというようなことで、まだ、印刷が可能である部分を優先的に考えていたということでございます。今、ご指摘のように、中々1万だと買いにくいだろうということもありますので、5,000円で7,500円という形ですね。50%プレミアム率になりますので、そこもちょっとそういう形で出来るかどうかちょっと検討させていただきます。

○塚原委員 50%なので、7,500円。2,500円プラスになったんですけれど。まあ、他市は他市でいいんですが、1万円で仮に100%ですけど。5,000円で1万円分という。で印刷代も大変だと思うんですけれど、1,000円でやると、どうしても1,000円買わないとおつりが発生しない商品券だと思うので、その金額が500円券。それより小さい金額でやると余計煩雑になるかもしれませんので、そういう意見があったので、その辺もちょっと考慮していただければというのが。

○東郷副市長 勘違いしていました。5,000円で1万円ということですね。100%プレミアム率が100%という形だと。そうすると予算的な部分が大きく変わってきてしまいますので。まずは、今50%で実施させていただいた中でプレミアム商品券ですけど半年で使い切るということになります。ですからその部分でまでやった中ですね10万の給付金もございますので、そこで取得していただいて、経済の方に回していただければというふうに考えていますので、よろしくお願ひしたいと思います。プレミアム率100%については、ちょっと出来ない。

○鈴木委員 プレミアム券なんですけど、もう一つ交換手数料って今まで商工会議所で取っていたというか、まあ、あったんですけれど。これに関してなるべくないような方向で、いわゆる交換手数料に係る分の負担も補助してもらえると、商工会議所に対してすね、ありがたいという意見もあったんですが、その辺りは、今回の制度ではどうなんですか。

○山口財政課長 今担当課の方で、そういった手数料がないような形で今制度設計を組んでいるところだそうです。すいません。まだ決まりではないので。制度設計は考えているそうです。

○海老原委員長 その他ございますか。

(「なし」の声あり)

○海老原委員長 ないようですので、その他執行部からございますか。

(「なし」の声あり)

○海老原委員長 以上で、上程される議案等の説明は終わりました。それでは、執行部の皆様は退席していただいて結構です。

(執行部 退席)

○海老原委員長 次に、協議事項(2) その他ですが何かありますか。

○吉田(博)委員 どうすんだ、議長。俺らはいいか。いいんだっぺ。

○篠塚議長 これはあくまでも議案でございますから。その体制であれば、議員の方が議長に言っていて、議長から諮問するというのがルールでございますので、何もなければそのままでございます。

○吉田(博)委員 議長の意見はどうなんだよ。

(「笑い声」あり)

○吉田(博)委員 その他。

(「笑い声」あり)

○海老原委員長 いいですか。

○吉田(博)委員 はい。はい。

○海老原委員長 それでは、以上を持ちまして議会運営委員会を閉会します。お疲れ様でした。